県史編さんが発足

各部各課の話題……

本田　いままでは十大ニュースという大きな捉え方の中で、とくに線の太いものを選んでとりあげてきたわけですが、こんどはすこし網の目をせばめまして、もつと嚙み砕いたところから各部各課の話題を拾い集めて、ふたたび一年の歩みを繰りかえし追つてまいりたいと思います。

では総務部関係の方から先にまいりましようか……川端さん。

川端　私の方は部自体の性格から事業面での画期的な話題は少ないのですが、ただ一つ、県史編さんが県民多年の要望を担つて発足したことです。

重石　民生労働関係を申しあげてみますと、一昨年から昨年の春にかけて全国的にセンセーショナルな話題となつた売春問題が本県では三月三十一日をもつてかたずき、これに対する一つのバックアップとして、婦人相談所と婦人寮が設置されたこと、いま一つは、児童福祉の面で熊本、八代、山鹿に児童遊園地が設置されたことですね

本田　では経済部へ移つてみましようか

島津　私の方の話題はとくに多いんで、これを各課ごとに述べてまいりたいと思います。

まづ、農業改良課関係ですが、昨年暮にでき上つた八代経営試験場があります。

これについて少し説明を加えますならば、さきほど十大ニュースに出てまいりました県農業試験場の落成とも有機的につながつているわけで、その目的や内容をひと口に申しあげますと、農業経営の研究改善を図るために地域的に営農を体系化する、ということになりますネ。つまり、農業試験場では農業技術について研究がなされるわけですが、これをそのまゝ、山間或は平坦地域に一様にとり入れるわけにはいかないために先づ地域の状況に応じた農家経営の研究をこの経営試験場でやつてみて、この結果はじめて体系をこしらえてゆく、ということになるわけです。

次に畜産部門では、こんど牧野放牧利用模範施設が全国四つの中の一つに選ばれたことですネ、これに関聯して、話題として欲しいのが本紙（十二月号）ですでに紹介されたフランス産の種馬ブルトンの受入れです。これは年間三百頭ぐらいに種付をやるんですが大いに期待してよいと思います。

村上……のそブルトンの利点というと

島津　まづ体が丈夫で性質がおとなしい　それから飼育管理がらくだということつまり経済性の高い馬だということができますネ

村上　なるほど……。

島津　それから、例の豪州産ジャージが現在七五〇頭に殖えたこと、これは予定どおりにいつているわけで、もつとも生れたのを牡牝加えますと九〇〇頭位になつているんですが、とにかく千頭めざしてあと一歩というところで、これは肥後名産の赤牛と共に畜産面では大いに伸ばしてやりたいところです。

次に水産課関係では、いわゆるトピックとして監視船〃あそ〃の就行。それから大きくは、沿海から沖合漁業への進出ということがありますネ

長欠児童ホームが……

重石　沖合漁業のことで私の方からそれと関聯した一つの話題をお知らせしたいと思うんですが、天草郡の倉岳に長欠児童のためのホームができた、ということなんです。漁場が沿岸から沖合へと進んだために、漁業者の生活は一家をあげて沖合の海上に移つてしまつたんですネ、ですからそのために、長期欠席の学童がたくさん出るようになり、これではいかんというところで、その児童たちを一定の期間このホームに引きとつて、満足のいくような教育或は保護をやつてゆこう、とそのような趣旨で設けられたのです。従つてこれは当然、天草漁業が沿岸から沖合へと進む過程としては、大へん興味のある話題であり、又必要な問題でもあつたわけです。

一同　たしかに、そうですネ

島津　次に農業経済課へまいりますが、これは話題としてはやゝ外れるかも知れませんけど、昨年の農業経済政策としては強く打出したものに流通対策があるんです。つまり農協を中心としてその共販態勢を強力にうち出したということです。こういう政策的な話題としてもう一つ、蚕糸課関係のがありまして、これは、蚕蚕一体の新養蚕を強力に推進しようということなんです。

それから最後に商工関係へまいりますと、先づ〃なべ底景気〃の中小企業に対する金融対策として、予てから誘致運動をやつてきた中小企業金融公庫の支店が熊本に、それと時を同じくして国民金融公庫の支所が八代にもできたということなんで、双方とも政府資金の導入に成果を挙げたというわけです。又信用保証協会支所が玉名と本渡に設けられました。

本田　では、次に農地林務部へまいりましようか……

人吉まで歩かずに

新生　私の方では何と云つても、五家荘の林道完成というところでしようか。この事業は二十五年からの継続事業であつたんですから、その感動も大きいし、とにかく、熊本から人吉まで五家荘をこえて歩かずに通れるようになつたことは、産業交通の面ではビッグ・ニュースとも云えることなんです。このほか、地すべり対策として県内の十九ヶ所がその指定にあづかつた……まあこんなところだと思います。

本田　ぢや土木部に入つてゆきましよう。

隈部　えゝと、土木事業の完成という観点から拾つてまいりましようか。まづ〃道〃から入つて、天草の海岸環状道路の一環として県道三角―池の浦線の完通が大きいと思います。

本田　池の浦と云いますと、天草郡の竜ヶ岳村にあるわけですネ

隈部　えゝそうです。でその三角―池の浦線というのも竜ヶ岳役場までが七月三十日に完通したということです。

本田　そんな点では離島振興の面にもかゝわつてくるわけですネ

隈部　そういうことです。次に〃橋〃の方では、これも多少離島振興と結びつくんですが、天草の瀬戸橋が上島と下島とを堅固に結んで竣工しました。次いで玉名大橋が例年の災害で傷めつけられていたのを架けなおして十二月九日に落成しましたし、又高瀬大橋、孤田橋も着々と竣工を急いで居ります。

次に〃川〃の方へまいりますと、これはニュースとして申し上げるならば、坪井川、井芹川が二つとも中小河川の編入に決定したことです。まあこれによつて、災害等による河川の改修も今後見通しが良くなるということが云えますネ

それから最後に〃海岸〃にやつてきて、不知火海岸の堤防改修が了つたこと、以上をお知らせして私の方の関係を終りましよう。

本田　次は衛生部ですかね、守住さんどうぞ……

海底に水道が……

守住　まづこれは県内はもちろん中央でも問題となつた水俣病に対する対策が軌道にのりました。

次にさきほどから離島振興対策のハナシが出てまいりましたけど、五和町の通詞島（つうじ）の海底簡易水道が完成したことは、その一環事業としても取りあげていゝと思います。

三ツ目としては、熊本、八代にし尿処理場の浄化槽の設置が完成したことです。

本田　ぢや、おしまいに私の方の企画部に移りますが、松下さんの方からいかがですか？

松下　先づ天草の離れ島対策が本年度から経済企画庁において予算の一本化ができ、飛躍的な振興が約束されたことがあげられます。

一方、本土では、阿蘇総合開発が道路、土地改良、畜産において愈々軌道にのりはじめたのをはじめ、鉄道の小国、隈庄線の着工と阿蘇山麓一帯畑地の開発のための地下水調査が始められたことは大きな話題と思います。

又、県南部ではさきほど十大ニュースの中に入りました八代港の整備拡張そして球磨市房県営発電所の着工がありそして球磨南部の土地改良が、去る十二月二十一日起工されました。

村上　では、私の広報課から一つ申しあげます。えゝ、こゝ二、三年来つづけて実施いたしましたN・H・Kと共催の移動文化キャラバン、つまり〃動く県庁〃も昨年は球磨盆地を行く文化キャラバンと銘うちまして、約一週間のあいだ人吉市をはじめとして一市五ヶ町村を廻り、水稲早期栽培や傾斜地農業についての農事相談や健康相談など、県政の各部門について直接住民の方々のご意見やご相談に応じ、又農家経営や生活改善の指導などもあわせまして、非常な成果をあげてこの催しを終つたわけですが、その時のアンケートによりますと、この移動県庁の役割が予想以上に大きく、かつ住民の希望というものによつてこの催しをさらに充実されなければならない、ということを痛感した次第でありまして、これからも毎年事情のゆるす限りこれら県民の方々の要望に応えてまいりたいと考えたわけです。

すゝむ総合開発

脚光浴びる新年の構想

本田　それでは、今まで昨年の十大ニュースを選んで、県政の歩みを追つて参つたわけですが、こゝで一つ、昭和三十四年はどういう構想で、どういう事業が脚光を浴びるか、いろ〳〵皆さんにご計画なり抱負なりがおありと思いますので、それをお話し願いたいと思います。

ではまづ、総合開発計画の面からお話し願いましようか。

松下　まづ三つの大きな計画を申し上げます。一つは、熊本平野総合開発計画の一応の構想成る、ということ。二つが、緑川総合開発の促進、次が玉名平野の総合開発の着手です。

熊本平野の問題は、昭和三十一年か